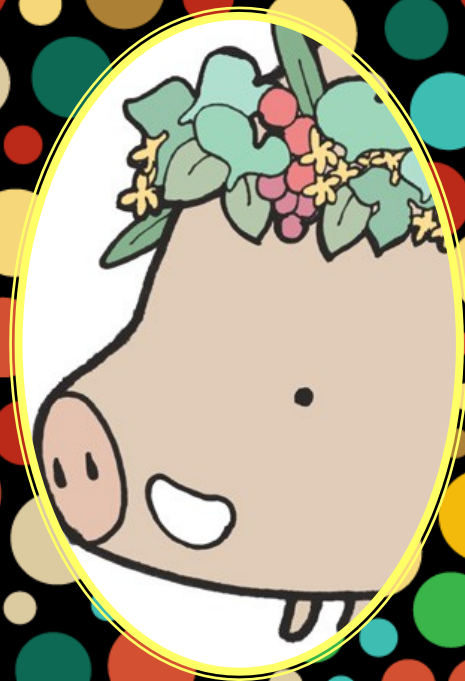


10代のための本棚



墨田区立図書館

てい〜んず情報誌Vol.26

2019年1月発行

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

おもてなし課活動報告

「ひきふね図書館の辞典で遊ぶ！！」

おもてなし課の活動で、ひきふね図書館にある「調べ物に使う図書」を探してみました。普段よく使う国語や漢字・英語辞典の他にも、図書館には調べもので使える図書がたくさんあります。江戸時代に使われていた言葉が載っている『江戸語辞典』、ことばとことばの結びつきを調べる『日本語コロケーション辞典』、天文学の事柄が載っている『天文学大事典』、トマトのあらゆることが載っている『トマト大事典』など、身近なものから専門的なものまで様々な辞典・図書があります。特に『江戸語辞典』では墨田区の地名「寺島」「向島」「白鬚」なども載っていました。江戸時代にはどんな町だったのか調べてみるのも面白いです。ひきふね図書館4階に辞典のコーナーがあります。フラッと立ち寄ってみて、面白い辞典を見つけるのも楽しいかもしれませんよ。



今年も良い年に
しましょう！



中学生・高校生のためのPOPコンテスト2018 入賞作品

たくさんのご応募、ありがとうございました。

特選

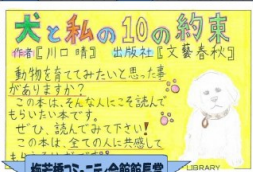
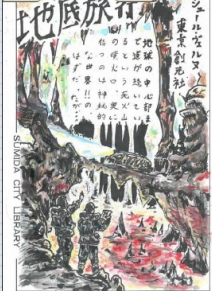


準特選

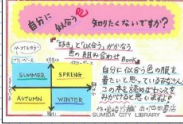


墨田区立図書館では毎年、中学生・高校生を対象とした「POPコンテスト」を開催しています。今年も区内の中高生から1,386作品もの力作が集まりました。

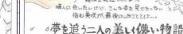
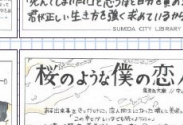
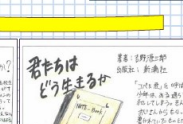
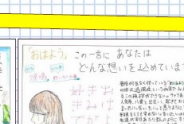
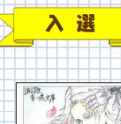
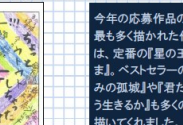
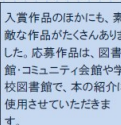
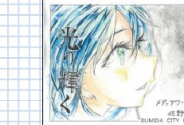
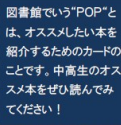
準特選



図書館員ライオン賞

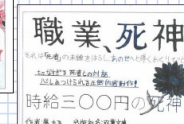
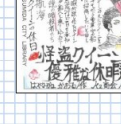


ライオンササビ賞



入賞作品のほかに、素敵な作品がたくさんありました。応募作品は、図書館・コミュニティ会館や学校図書館で、本の紹介に使用させていただきます。

入選



今年の応募作品の中でも多く描かれた作品は、定番の『星の王子さま』。ベアセーの『かがみの城』や『君たちどきどき』も多くの人が描いてくれました。

主催 墨田区立図書館



ほんとはずっと好きだった

たちまちクライマックス委員会/編

ポプラ社 2018年

入れ替わってしまった携帯電話、初恋の人との再会、文学少女の恋愛相談など、短い時間でドキドキが味わえる短編集です。勉強の気分転換にもオススメです。



満点レシピ-新総高校食物調理科-

須藤靖貴/著 新潮社 2018年

卒業すると調理師免許が取得できる新総高校食物調理科。そこで何かを決めるためには、生徒の「全員一致」が必要。サラダ油を使うか、オリーブ油を使うか決めるのも「全員一致」。面白い青春群像小説でありながら「プロ」とは何かが学べる。そんな一冊です！



ローズさん

澤井美穂/作 中島梨絵/絵 フレーベル館 2018年

両親と離れ祖母の元で暮らす中学生の惟(ゆい)は、音楽室で知り合った幸志郎と一緒に町に伝わる「ローズさんの呪い」を調べることになる。人々から話を聴いていく中、浮かび上がるローズさんの本当の姿とは……。少し不思議な空気が漂う、少女の心の成長を描いた物語。



テラー伊三郎

川瀬七緒/著 KADOKAWA 2017年

ファミレスと大型店が町を席卷する、無個性で「中途半端な田舎」に住む母子家庭の男子高校生・アクア。自分の将来に悲観的な彼と、仕立て屋の老人・伊三郎の出会いは、ふたりの未来を変え、さびれた商店街に疾風怒濤の一大ムーブメントを巻き起こしていく！



乙女の文学さんぽ 鎌倉・湘南編

東京書籍書籍編集部/編 東京書籍 2018年

『ツバキ文具店』『ピブリア古書堂の事件手帖』『海街diary』ほか鎌倉・湘南を舞台にした物語を辿りながら鎌倉周辺をお散歩してみませんか？おさえておきたい観光スポット、美味しいケーキや食事のお店、おみやげの情報も載っています。



小説は君のためにある

藤谷治/著 筑摩書房 2018年

小説とは何か、文学とは何か、小説を読むことが自分にどんな影響を与えるか、これからの人生にどう役立つかなど、小説が持つ可能性を述べています。小説案内付きなので小説を読んだことのない人はぜひ手に取ってみよう。



この空の上で、いつまでも君を待っている

こがらし輪音/著 KADOKAWA 2018年

斜に構えた女子高生美鈴と夢を追いつけるクラスメイト東屋。その夢の為に、ガラクタで作るロケットで宇宙へ行こうとまでする東屋の秘密とは。普通の青春小説だと思ったら一風変わったラストです！



わたしが少女型ロボットだったころ

石川宏千花/著 偕成社 2018年

自分がロボットだと気づいた少女が食べることを止めてしまい、摂食障害になってしまう。親身になってくれる子と出かけ刺激を受けることでロボットの少女の心や考え方が成長していきます。



おせち



新年を迎え、おせち料理を

食べた方も多いかと思ひます。

おせち料理には、品の一つ一つに

縁起物や縁担ぎの意味があり、

重箱の詰め方にも末広や

七宝などの呼び名があります。

他にも正月には初夢や初詣などで

縁起物が活躍します。

絵馬やおみくじなどの縁起物についても知ろう！



『知っているとうれしいにはほんの縁起もの』

広田千悦子/著 徳間書店

ビブリオバトル

in立花図書館

職場体験にきた生徒の皆さんと、立花図書館でビブリオバトルをした時の歴代チャンプ本です！

『罪と罰』

ドストエフスキー/著
工藤精一郎/訳
新潮社

『リカ』

五十嵐貴久/著
幻冬舎

『今日もかき氷』

蒼井優/著
マガジンハウス

『沙高樓綺譚』

浅田次郎/著
文藝春秋

『パブリカ』

筒井康隆/著
中央公論社

『レジまでの推理

一本屋さんの名探偵-』
似鳥鶏/著
光文社

『ヒア・カムズ・ザ・サン』

有川浩/著
新潮社

『わしらは怪しい探偵隊』

椎名誠/著
角川書店